

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 JUKI株式会社

コード番号 6440 URL <http://www.juki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 和之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 大竹 義博

TEL 03-3480-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	12,456	△50.7	△3,513	—	△3,601	—	△2,740	—
21年3月期第1四半期	25,248	—	1,500	—	1,965	—	512	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△21.20	—
21年3月期第1四半期	3.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	102,464	20,036	19.3	152.90
21年3月期	103,654	21,589	20.6	164.98

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 19,759百万円 21年3月期 21,321百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	0.00	5.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	78,000	0.2	△3,200	—	△4,000	—	△4,000	—	△30.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無
第2四半期連結累計期間の業績予想については記載していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	129,370,899株	21年3月期	129,370,899株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	137,865株	21年3月期	137,789株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	129,233,159株	21年3月期第1四半期	129,190,560株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

【 定性的情報・財務諸表等 】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の連結売上高は124億5千6百万円(対前年同期比50.7%減)、営業利益は35億1千3百万円のマイナス(前年同期は15億円のプラス)、経常利益は36億1百万円のマイナス(前年同期は19億6千5百万円のプラス)となりました。四半期純利益につきましては27億4千万円のマイナス(前年同期は5億1千2百万円のプラス)となりました。

事業別セグメントの状況は以下のとおりです。

(1)工業用ミシン事業

当第1四半期は、中国市場において回復の兆しが見え始めたものの、欧米市場をはじめその他市場においても、引き続き厳しい状況で推移しました。その結果、工業用ミシン事業全体の連結売上高は83億6千3百万円(対前年同期比47.1%減)となりました。

(2)産業装置事業(チップマウンター等)

前期後半から続く世界的な景気後退による設備投資抑制の影響から、チップマウンターの需要も低迷を続けており、産業装置事業全体の連結売上高は16億9千4百万円(対前年同期比72.0%減)となりました。

(3)家庭用ミシン事業

国内の個人消費低迷の影響などもあって、家庭用ミシン事業全体の連結売上高は5億7千1百万円(対前年同期比5.4%減)となりました。

(4)電子・精密機器事業(IT関連、アミューズメント関連機器等)

精密機器(アミューズメント関連機器等)について事業の見直しを進めていることなどもあって、電子・精密機器事業全体の連結売上高は6億1千6百万円(対前年同期比53.8%減)となりました。

(5)精密鑄造事業(ロストワックス製品等)

国内経済の減速による設備投資抑制の影響などもあって販売が伸び悩み、精密鑄造事業全体の連結売上高は8億4千4百万円(対前年同期比14.1%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産について)

当第1四半期の総資産は、前期末に比べ11億9千万円減少し、1,024億6千4百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金、たな卸資産の減少などにより、前期末に比べ27億5千8百万円減少し、602億1千2百万円となりました。流動負債は、設備関係支払手形の減少などにより、前期末に比べ83億5千1百万円減少し、561億5千万円となりました。純資産は前期末に比べ15億5千2百万円減少し、200億3千6百万円となりました。利益剰余金の減少(27億4千万円)と為替換算調整勘定など評価・換算差額のマイナス幅の減少(11億7千8百万円)などによるものです。

(キャッシュ・フローについて)

営業活動によるキャッシュ・フローは6億8千5百万円の支出となりました。税金等調整前四半期純損失の計上はあるものの売上債権、たな卸資産が減少したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは54億6千5百万円の支出となりました。有形固定資産の取得による支出などがあったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは58億5千4百万円の収入となりました。長期借入金の増加などによるものです。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物は89億1千3百万円となり、前期末に比べ1千2百万

円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、今後も引き続き経済環境等が不透明な状況で推移するものと思われますので、今回の発表は見送ることといたしたく存じます。また、通期の業績予想につきましても、同様の理由により、平成21年5月19日に発表した内容を据え置いております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

③ 未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫高に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積もって計算しております。

④ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められますので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

① 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法、もしくは税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,125	8,955
受取手形及び売掛金	11,651	12,821
有価証券	10	44
商品及び製品	25,866	27,286
仕掛品	3,672	3,644
原材料及び貯蔵品	4,860	5,140
その他	6,194	6,145
貸倒引当金	△1,168	△1,065
流動資産合計	60,212	62,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,191	8,862
土地	7,527	7,490
その他（純額）	12,809	12,662
有形固定資産合計	29,528	29,016
無形固定資産	2,520	2,524
投資その他の資産		
その他	11,829	10,779
貸倒引当金	△1,626	△1,636
投資その他の資産合計	10,202	9,142
固定資産合計	42,251	40,683
資産合計	102,464	103,654

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,896	4,946
短期借入金	43,264	45,326
1年内償還予定の社債	40	40
未払法人税等	109	206
賞与引当金	751	924
その他	8,087	13,057
流動負債合計	56,150	64,501
固定負債		
社債	650	660
長期借入金	17,962	9,544
退職給付引当金	6,320	6,306
役員退職慰労引当金	381	393
その他	963	659
固定負債合計	26,277	17,564
負債合計	82,427	82,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,950	15,950
資本剰余金	8,976	8,977
利益剰余金	△345	2,394
自己株式	△57	△57
株主資本合計	24,524	27,264
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20	△77
繰延ヘッジ損益	△1	△2
為替換算調整勘定	△4,782	△5,863
評価・換算差額等合計	△4,764	△5,943
少数株主持分	277	267
純資産合計	20,036	21,589
負債純資産合計	102,464	103,654

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	25,248	12,456
売上原価	16,060	10,595
売上総利益	9,188	1,861
販売費及び一般管理費	7,687	5,374
営業利益又は営業損失(△)	1,500	△3,513
営業外収益		
受取利息	48	54
受取配当金	133	29
為替差益	315	199
その他	237	333
営業外収益合計	735	617
営業外費用		
支払利息	246	287
シンジケートローン手数料	—	392
その他	24	25
営業外費用合計	270	704
経常利益又は経常損失(△)	1,965	△3,601
特別利益		
固定資産売却益	3	0
関係会社減資に伴う為替差益	—	163
その他	—	19
特別利益合計	3	184
特別損失		
固定資産除売却損	—	5
投資有価証券評価損	—	74
たな卸資産評価損	415	—
その他	165	38
特別損失合計	581	118
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,387	△3,535
法人税、住民税及び事業税	707	△1,249
法人税等調整額	160	461
法人税等合計	868	△787
少数株主利益又は少数株主損失(△)	7	△6
四半期純利益又は四半期純損失(△)	512	△2,740

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,387	△3,535
減価償却費	811	789
貸倒引当金の増減額(△は減少)	135	19
退職給付引当金の増減額(△は減少)	68	14
賞与引当金の増減額(△は減少)	△463	△173
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△85	—
受取利息及び受取配当金	△182	△84
支払利息	246	287
売上債権の増減額(△は増加)	321	1,781
たな卸資産の増減額(△は増加)	960	3,026
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,312	△1,108
未払消費税等の増減額(△は減少)	△371	△3
割引手形の増減額(△は減少)	△447	△162
その他	△1,873	△473
小計	△805	377
利息及び配当金の受取額	182	83
利息の支払額	△237	△265
事業再編による支出	△1,791	△674
法人税等の支払額	△622	△205
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,274	△685
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△861	△5,372
有形固定資産の売却による収入	191	6
その他	72	△98
投資活動によるキャッシュ・フロー	△597	△5,465
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,446	△1,905
長期借入れによる収入	250	9,540
長期借入金の返済による支出	△2,298	△1,990
社債の償還による支出	—	△10
配当金の支払額	△546	△1
少数株主への配当金の支払額	△4	—
その他	0	221
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,846	5,854
現金及び現金同等物に係る換算差額	△429	283
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,455	△12
現金及び現金同等物の期首残高	9,940	8,925
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,485	8,913

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	工業用 マシン事業 (百万円)	産業装置 事業 (百万円)	家庭用 マシン事業 (百万円)	電子・精密 機器事業 (百万円)	精密鋳造 事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	15,800	6,050	604	1,333	983	475	25,248	—	25,248
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	156	44	133	178	25	20	561	(561)	—
計	15,957	6,095	738	1,512	1,008	496	25,809	(561)	25,248
営業利益又は営業損失(△)	1,590	762	△ 521	61	61	△ 56	1,898	(397)	1,500

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	工業用 マシン事業 (百万円)	産業装置 事業 (百万円)	家庭用 マシン事業 (百万円)	電子・精密 機器事業 (百万円)	精密鋳造 事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	8,363	1,694	571	616	844	366	12,456	—	12,456
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	72	48	65	63	7	58	317	(317)	—
計	8,436	1,743	637	680	852	424	12,773	(317)	12,456
営業利益又は営業損失(△)	△ 1,489	△ 1,466	△ 95	26	1	△ 50	△ 3,073	(440)	△ 3,513

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 工業用マシン事業 …… 工業用マシン

(2) 産業装置事業 …… チップマウンター

(3) 家庭用マシン事業 …… 家庭用マシン

(4) 電子・精密機器事業 …… アミューズメント機器、IT関連機器等

(5) 精密鋳造事業 …… ロストワックス製品、MIM (Metal Injection Molding = 金属粉末射出成型法) 製品

(6) その他 …… 金型、プレス加工製品等

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	7,883	2,476	11,947	2,940	25,248		25,248
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	13,658	2	2,657	43	16,361	(16,361)	—
計	21,541	2,478	14,605	2,984	41,610	(16,361)	25,248
営業利益又は営業損失(△)	1,363	75	250	208	1,898	(397)	1,500

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	3,929	1,027	6,628	871	12,456		12,456
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,629	24	1,029	23	4,706	(4,706)	—
計	7,558	1,052	7,657	894	17,163	(4,706)	12,456
営業利益又は営業損失(△)	△ 3,029	△ 92	△ 331	△ 13	△ 3,466	(47)	△ 3,513

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	米州	アジア	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	2,490	12,713	3,958	7	19,170
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	—	25,248
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.9	50.3	15.7	0.0	75.9

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	米州	アジア	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	1,033	6,886	1,035	1	8,957
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	—	12,456
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.3	55.3	8.3	0.0	71.9

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。